

九州体育・保健体育ネットワーク研究会 2017 ファイナル in 福岡

—21世紀の資質・能力育成と保健体育の授業の可能性—

1 目的

九州各県の体育科・保健体育科教育に関わる小・中・高・特別支援の学校関係者、教育委員会関係者、大学関係者によって構成される有志が、学習指導要領への理解、体育学習や保健学習に関する授業力の向上、教育課程編成等体育科教育の充実に向けて、語り合う機会とし、九州から全国へ実践ベースの情報を発信する。また、全国体育・保健体育ネットワーク研究会の交流を促進する。

2 主催／共催／後援

〔主催〕九州体育・保健体育ネットワーク研究会、北海道・東北ネットワーク研究会
北信越ネットワーク研究会

〔共催〕福岡県体育研究所、鹿屋体育大学、宮崎大学、熊本大学、福岡教育大学、佐賀大学、九州共立大学、鹿児島大学（申請中）

〔後援〕大分県教育委員会、沖縄県教育委員会、鹿児島県教育委員会、熊本県教育委員会、長崎県教育委員会、福岡県教育委員会、宮崎県教育委員会、佐賀県教育委員会（申請中）

3 期 日

平成29年2月25日（土） 10:00～17:00（受付：9:30～）

4 場 所

福岡県立スポーツ科学情報センター（アクション福岡）

住所 〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-4

TEL 092-611-1717

5 内 容

2月25日（土）

9:30 受付

10:00 開会

（代表挨拶）体育・保健体育ネットワーク研究会世話人 佐藤 豊

（来賓挨拶）九州体育・保健体育ネットワーク研究会顧問

第1部「授業づくり最前線」学習指導要領に基づく指導の推進と実践

10:15～11:00 中央教育審議会の動向と体育・保健体育
北海道・東北ネットワーク世話人 高橋 修一

11:00～11:40 国立教育政策研究所指定校の取り組み

① 沖縄県那覇市立小祿中学校

② 福岡県立香椎高等学校

③ 長崎県立大村工業高校

11:40～12:00 総会 会計報告・監査

（事務局ランチタイム打ち合わせ 12:00～13:00）

第2部 ポスターセッション・ブース展示 教育・行政・研究の情報共有

13:00～14:15

第3部「保健体育授業づくりシンポジウム」

「資質・能力の育成と体育授業からみたスポーツの貢献」(仮)

14:30~16:30

パネリスト

古川 善男

伊藤 久仁

佐藤 豊

北海道教育大学名誉教授

名古屋市立高蔵小学校校長

桐蔭横浜大学教授

16:30~16:45 事務連絡

16:45 終了

18:00 情報交換会(福岡市内)

<ブース展示>

- ・柴田 一浩、本多 壮太郎 剣道簡易竹刀の開発展示
- ・JADA スポーツの価値教育情報コーナー
- ・体づくり運動アプリタブレット体験コーナー

6 資料代(紀要)

1,000円

※九州ネットワークの会費については、平成28年度会費未納入者のみ徴収します。

7 参加申込

下記アドレスを直接アドレスバーに打ち込み、HPへアクセスし送信ください。

なお、2月20日(月)までにお申し込みください。(携帯からのアクセスも可)

<http://eap.pref.nagasaki.lg.jp/kv2/?42000Q00002408XGS>

携帯からの参加

申込はこちらから

申し込み画面にジャンプします。

*ポスター発表をしていただける方は、備考欄に、「ポスター発表希望(発表タイトル、氏名)」をご記入下さい。要項原稿の作成がありますので、**1月27日(金)**までに原稿を事務局：梶(かこい) <chichicaco@ninus.ocn.ne.jp>まで送信してください。

***別添ポスター作成見本を参照してください。**



8 その他

- ◆ 宿泊については、各自手配をお願いします。(非常に取りにくくなっています。)
- ◆ 情報交換会は福岡市内(博多駅前のHクリオコートを予定)で実施します。(5,000円程度)なお、準備の関係上、研究会と情報交換会を併せて参加の有無をお知らせください。
- ◆ 実践発表(ポスター)を希望される方は、1月27日(金)までに申し込みサイトからエントリーをし、原稿を送付してください。学校現場実践、大学生等ポスターセッションにおける発表が可能です。学会ではありませんので、既発表のものも可能です。研究や実践の成果を広くご発表下さい。

9 問合せ/連絡先

事務局：鹿屋体育大学

担当：梶 ちか子 (090-9090-0047, chichicaco@ninus.ocn.ne.jp)

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

10 会場案内



バス

JR 博多駅 バスターミナル14番乗り場から
37, 39, 39-Bのバス・・・約20分
(月隈団地経由) (アクション福岡前下車)

福岡空港 地下鉄4番出口 福岡空港前バス停から
37, 38, 39のバス・・・約7分

車

JR 博多駅から・・・・・・・・・・約20分

都市高速道路利用の場合

福岡方面から：月隈ランプ出口を降りて・・・・・・・・
約6分

太宰府方面から：金の隈ランプ出口を降りて・・・
約9分

ポスター作成イメージ

保健体育授業づくりシンポジウム 2014 九州から全国へ ～学校体育の充実に向けて～

体づくり運動タブレットを活用した授業実践

2014.3.8

北本憲仁 熊本県山鹿市立菊鹿中学校 y-kikukajh@educet01.plala.or.jp

1 体づくり運動って



◇「体ほぐしの運動」「体力を高める運動」
◇7単位時間以上の実施
◆自他の心と体に向き合って、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、心と体をほぐしたり、体力を高めたりする。
◆健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画を立て取り組む。

2 現場の状況は

◇学習指導要領完全実施から2年目
・指導内容は概ね理解できているが、指導方法が難しい。
・トレーニングの要素がどうしても強くなる。
・何となくレクリエーションっぽく感じてしまう。
・学習準備物が多く、学習シートの活用に時間がかかる。 等

◇授業を受ける生徒たちは
・楽しんで運動している感じ。
・知識が身につけていない。
・活動に時間のロスが生まれる。
・あまり日常化しない。

3 タブレットの活用

体づくり運動アプリ 映像で運動の行い方が学習できる 運動の計画が生徒自身で作成できる 教師専用管理画面で生徒の情報を一元管理

4 実践例【1年生】

体づくりアプリ活用;運動例を参考に自主的に



呼吸を合わせて、「せーのっ!」

振り返り・まとめ

◇生徒たちは、学習内容を理解し、ペアやグループで助け合ったり教え合ったりして活動していた。
◇教師は本時のねらいを意識、多くの運動を行っている状況を把握、主に操作のサポートを行った。

5 成果と課題

①動画の運動例やそのポイントが示されており、生徒たちの学習内容の理解に大きく役立った。 ②1時間の「導入・展開・終末」の流れがスムーズだった。 ③生徒の自主的な姿が随分見られた。また、教師側のサポートをしてくれたアプリだった。 ④事前にアプリで学習内容や展開を確認できたので、授業が本当に進めやすかった。 ⑤学習規律を徹底したり、タブレット使用のルールを決めたりしたことがよかった。 ⑥指導と評価の一体化につながった。

●活動時におけるタブレットの管理を考えないと、安全面の心配や破損の恐れがある。 ●2人で1台が理想的であるが、タブレットの台数やWiFi環境等を整備しないと活動が停滞する。 ●運動例は豊富だが、授業中だけで見てしまうことは難しい。

6 これから

エクセル、ワード、PPT

タイトル
お願いします

発表者の
所属、氏
名等

作成資
料、指導
案、タブ
レットに
よる映像
等の提供
も可能で
す